

事業所名

りんく麻生園

支援プログラム（参考書式）

作成日

年

月

日

法人（事業所）理念	すべての子どもの笑顔のために 子ども達が笑顔で居るためには、まず周りに居る大人、職員や保護者が笑顔で過ごせる環境が大切だと考え、職員が楽しく働ける環境づくり、また保護者の子育て負担の軽減や、仕事と子育ての両立が出来るように、一緒に子育てをして行きたいと考えております。								
支援方針	◆遊びを大切にし、遊びの中で多くのことを学びます。 ◆わらべ遊び、本に親しむ時間を大切にします。 ◆「よく遊び」「よく食べ」「よく眠る」を大切にします。 ◆戸外遊びを大切に、丈夫な体を育てます。◆連携園（きずな保育園）との交流を通し、お子さんの集団生活につながる支援を目指します。								
サービス提供時間	午前クラス	8時	45分	12時	15分	送迎実施の有無	あり	なし	
	午後クラス	14時	10分	17時	15分				
支 援 内 容									
	ねらい				とりくみ				
本人支援	健康・生活	◆健康状態の維持・改善 ◆生活習慣や生活リズムの形成 ◆基本的な生活スキルの獲得				◆通所時に健康状態の観察と把握 ◆自宅や保育園・幼稚園での生活の様子の聞き取りと把握 ◆生活に必要な基本的技能を獲得できるように、子どもの状態に応じて適切な時期・手法で支援			
	運動・感覚	◆姿勢と運動・動作の向上 ◆保有する感覚の活用				◆トランポリン、ボール遊び、公園での外遊びなど、身体をしっかりと動かす粗大運動の導入 ◆スライムあそびや粘土あそび、水遊びなどの感覚を程よく刺激する遊びの導入 ◆ハサミやのり、お絵描きや折り紙等の簡単な制作活動を通じた微細運動の導入			
	認知・行動	◆認知の発達と行動の習得 ◆空間、時間、数等の概念形成の習得 ◆行動への認知過程の発達				◆遊び、集団活動を通じて、他者との関わり方を学び対応能力の形成 ◆相手の話を聞いて的確な判断や行動を必要とされるカードゲームやボードゲームなどの遊びの導入 ◆活動の内容や面白さを拡充するため、遊びの中にルールや数字（時間・点数など）を導入			
	言語・コミュニケーション	◆言語の形成と活用 ◆言語の受容及び表出 ◆コミュニケーションの基礎的能力の向上 ◆状況に応じたコミュニケーション				◆言葉になりきらない思いを受け止め言語化し、自分の感情と言葉が一致していくような促し ◆読書、絵本の読み聞かせやカルタ等の遊びの中で、文字を読んだり聞いたりする機会の導入 ◆小集団の中で遊びのルールを決めるなどの工程を通じてコミュニケーションをとる楽しさへの気付き			
	人間関係・社会性	◆自己の理解と行動の調整 ◆遊びを通じた社会性の促進 ◆他者との関わり（人間関係）の形成				◆ありのままの姿を認め、人と関わる面白さの獲得 ◆ルールのある遊びの中で、友だちと協力する面白さの体験と獲得 ◆相手の立場に寄り添った行動や言葉がけを一緒に考えられる場の設定			
家族支援	連絡ノートや送迎時、面談などを通して情報共有を図り支援します。				移行支援	保育園、幼稚園等に登園する幼児が児童発達支援へ通所する際、不安、緊張などがないよう寄り添いながら支援します。			
地域支援・地域連携	必要に応じて電話、連携会議やケース会議等を行い、関連各所と情報共有、共通理解をし、連携して支援します。				職員の質の向上	定期的に内部研修を実施すると共に、応急手当講習などの外部講師による研修に参加することで職員の資質の向上に努めています。			
主な行事等									